



### 国道246号バイパスの1日も早い全線開通を



一 地域コミュニティの在り方について

問 現在の自治会は、役員のなり手不足と高齢化が課題であるため、若い世代や子育て世代が参加しやすい自治会活動に環境を改善すべきと考えるがどうか。

答 地域の関心を高め、愛着を持ってもらえるような取り組みを自治会連合会の会議などで情報共有を行い、自治会に参加しやすい環境づくりにつなげていきたい。

二 パートナリシップ宣誓制度について

問 一人でも多くの人に利用してもらうため、制度の周知や性的少数者などの多様性に対する理解の促進について、取り組みはどうか。

答 これまで映画会などを実施してきたが、今後も、講演会の開催やチラシの配布など、さまざまな方法による啓発に努めていく。



国道246号の渋滞緩和と諸問題の解決に向けて

### 自治会DXにさらなるメリットを



市民クラブ 八尋 伸二

一 自治会DXの進捗について

問 自治会の加入状況と※「いちのいち」の普及状況はどのようか。

答 令和5年度は、報告を受けていない自治会もあるが、その自治会には4年度の加入世帯数を入れて算出すると56・98%となり、年々減少傾向にある。また「いちのいち」の普及は現在240自治会中148自治会が活用している。

問 2年12月から3年1月に実施した自治会未加入者へのアンケートをどう分析したのか。

答 自治会に加入しない主な理由は「役員をやりたいくない」が最も多く、その背景には「役員の負担

が大きい」、次に多い「加入するメリットを感じない」の背景には、「自治会の活動に関心がない」といった状況があると分析している。

問 自治会の役員が高齢化している中、「いちのいち」をより一層活用してもらうためにも、操作を忘れた場合に確認ができるよう、メリットや操作方法などを動画にすべきと考えるがどうか。

答 これまでも高齢者を中心にメリットなどが分からず利用しづらいつつあった声がある。動画を作成することでメリットや操作方法を視覚的に分かりやすく説明できると考えており、前向きに検討する。要望 座間市のように「自治会員



### 駅前広場直近の今泉土地区画整理事業C地区「早期計画提示」



一 震生湖周辺整備について

問 本市有数の観光地であり、にぎわい創造の拠点でもある震生湖の今後の計画はどのようか。

答 令和5年9月予定の記念事業で新たな橋のデザインを公開する。太鼓橋の架け替えにより湖畔周辺の散策道の整備は一定程度完了するが、今後も来訪者の動向を捉え、震生湖の特性を生かしながら中井町との連携の下、取り組んでいく。

二 秦野駅南(今泉)土地区画整理事業について

問 本事業は都市計画決定から40年以上経過したが、これまでC地区の都市基盤整備方針の地区住民への説明不足を指摘してきた。地元説明会や意向調査、都市計画除外の時期は、着工から完成までの行程表の提示は、どのようか。

答 C地区全体の説明会は開催していないため、関係自治会の役員などに時期や開催方法などを相談する。県は整備方針におおむね了解しているが、住民の合意形成や区域の変更などには地域の協力が必要であり時間を要する。B地区完了後、速やかに本格化できるように早期に整備計画を策定したい。



### 現状把握と実施方法の検討で段階的な部活動の地域移行を



市民クラブ 野々山 静香

一 安全なまちづくりについて

問 令和5年7月1日の道路交通法一部改正に伴い、電動キックボードなどは免許やヘルメットがなくても16歳以上であれば公道を走行できるが、周知方法はどうか。

答 車体の規格など、基準に該当するものについては新たな交通ルールが適用される。運転者だけでなく、歩行者の安全の観点からも「優待制度」を設けるほか、中小企業を特別自治会として位置付け、「いちのいち」の安否確認機能を利用できるようにしてほしい。



「いちのいち」のより一層の活用を

各種キャンペーンなどで交通事故の未然防止を呼びかける。

二 中学校における休日部活動の地域移行について

問 神奈川県中学校体育連盟の規約改正に伴い、令和5年度から秦野市中学校体育連盟が主催する大会に地域クラブが参加可能となり、子どもたちの心身に影響が出ないか危惧するが、対策はどうか。

答 各学校の校長が評議員となる市連盟は、競技や種目ごとの大会参加基準の継続的な見直しと、チーム編成が勝利至上主義とならない手だてなどについて、県連盟に意見書を提出したと報告を受けた。

問 秦野市部活動スタートアップ2025プランが進められているが、現段階の成果はどのようか。

答 市スポーツ協会と連携した市内剣道部では、活動拠点を東部・中部・西部で展開し、兼職兼業を希望した部活動顧問以外は、休日の活動に従事しない体制が図れた。要望 急激な変化に対応できない学校現場と子どもたちを考慮し、段階的な地域移行を進めてほしい。

## 議会の動向

- 5月
  - 30日(火)・議案送付
- 6月
  - 1日(木)・議会運営委員会
  - 6日(火)・市議会第2回定例会議開会【傍聴者数1人】
  - ・代表者会議
  - 8日(木)・本会議(議案審議)
  - ・議会運営委員会【傍聴者数3人】
  - 12日(月)・総務常任委員会【傍聴者数2人】
  - 13日(火)・文教福祉常任委員会【傍聴者数2人】
  - ・予算決算常任委員会(文教福祉分科会)
  - 14日(水)・環境都市常任委員会【傍聴者数1人】
  - 16日(金)・本会議(一般質問)【傍聴者数19人】
  - 19日(月)・本会議(一般質問)【傍聴者数30人】
  - 20日(火)・本会議(一般質問)【傍聴者数44人】
  - ・追加議案送付
  - 23日(金)・議会運営委員会【傍聴者数1人】
  - ・予算決算常任委員会【傍聴者数2人】
  - ・市議会第2回定例会議閉会【傍聴者数4人】
  - ・議会報編集委員会
- 7月
  - 3日(月)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第2回定例会
  - 14日(金)・代表者会議
  - ・議員連絡会
  - ・議会運営委員会【傍聴者数1人】
- 8月
  - 2日(水)・議会報編集委員会



東海大学との連携など本市ならではの部活動の地域移行を



歩道整備などが計画されている踏み切り付近の様子



### 街路樹の適切な維持管理と倒木に対する予防保全対策を



一 街路樹の維持管理について

問 令和5年4月に南が丘地区内のサクラの木が突風により倒れたが、倒木の原因はどのようか。

答 原因は腐朽菌で根の内部が腐ったため重さに耐え切れず、また3月に根の一部を切断したことが倒木を早めた要因でもある。

問 この木は樹木診断では状態の良いA判定だったと聞か、判定が間違っていたということか。

答 1月の診断はA判定だったが、内部の状態を正確に確認できる方法を実施すべきだったと考える。

問 歩道などの道路構造と密接な関係があるため、従来の判定方法を変えるべきと思うがどうか。

答 精密検査で早期発見につなげ、適切な管理に努めていきたい。

二 子ども・子育て支援について

問 令和5年6月に、国は「こども未来戦略方針」において、新たな保育士の配置基準を示した。現在の民間認可保育所などの保育士



4月11日に突風で倒れた南が丘2丁目のサクラの木

の配置数を見直し、改善していく必要があると思うがどうか。

答 配置基準は専門家などの意見を聞きながら検討していきたい。

問 専門家の意見を聞かなければならない理由とは何か。

答 さまざまな立場の人の意見を聞いた上で判断したいためである。

問 国は保育士の具体的配置基準を示しているが、本市はどのように検討していくのか。

答 配置基準は保育士が不足している状況を含め、広く検討したい。

用語解説 ※「いちのいち」…小田急電鉄株式会社が開発した、自治会の電子回覧板機能や防犯・防災情報の発信を行うことができる自治会専用のSNSサービスのこと。